

うぶやさわ

「産屋沢溪流保全工竣工式」を行います

上高地の産屋沢において、平成23年6月23日の豪雨時に土石流が発生し、上高地への唯一のアクセス路である県道上高地公園線が寸断され、上高地内に観光客ら約1,200名が孤立しました。今後このような災害が発生しないよう、平成23年9月より溪流保全工に着手し、平成29年5月に竣工しました。

このたび、国会議員、長野県議会議員、松本市議会議員、地元町会長等、関係者の皆様のご臨席のもとで産屋沢溪流保全工竣工式を挙行いたします。

なお、竣工式には平成23年の土石流発生時に現地に居合わせ、土石流発生の際を捉え、土石流による人命被害を間一髪で回避させた行政職員も臨席し、当時の状況を画像等を見ながら報告します。

- 日時：平成29年5月20日(土) 10:00～
場所：長野県松本市安曇上高地地先（別紙-1のとおり）
主催：信濃川・姫川水系砂防工事促進期成同盟会
国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所



平成23年6月23日産屋沢土石流の瞬間

—配布先—
松本市政記者クラブ
その他専門紙

問い合わせ先
国土交通省 北陸地方整備局
松本砂防事務所
TEL 0263-33-1115(代表)
副所長 山崎 智 (内線 202)
建設専門官 酒向 秀典(内線 401)

* 通行許可証をお持ちの方へ

1. 国道158号方面から釜トンネルを抜けますと、左側に会場へ繋がる旧道がありますので、左折してください。
2. 案内看板と誘導員あり。



この災害現場で人的被害を回避しました

- 事務所職員が土石流発生の兆候を捉え、道路管理者を促し、県道上高地公園線を通行止にしました。
- 一般車両やバスの通行を制止し、土石流による人命被害を間一髪で回避しました。
- 上高地内の観光客等約1,200名に土石流災害の状況を伝え、二次被害の防止に努めました。

うぶ や さわ 産屋沢溪流保全工

平成29年5月20日

職員が土石流の兆候を捉え的確に対応

土石流災害の状況を上高地の消防隊長、町会長、観光旅館組合長等関係者へ通報

平成23年6月23日13:25

橋を渡ろうとする車両を制止



被害防止のため、さらなる手を打つ



車両が引き返した6分後、
土石流が橋をオーバーフロー

土石流災害の状況を伝え待機を促す



約1,200名の観光客等は一晩待機翌日、
徒歩で無事下山



信濃川・姫川水系砂防工事促進期成同盟会
国土交通省 北陸地方整備局 松本砂防事務所

※人的被害を未然に防止したことにより、松本砂防事務所の職員が長野県知事から感謝状を贈呈されました。



国土交通省 北陸地方整備局
松本砂防事務所

産屋沢での土石流災害と対策工事

産屋沢は霞沢岳を水源とし、河床勾配が源流部で1/1.5、下流部で1/5と非常に急峻な沢です。上流には崩壊地を抱え河道内には巨礫を含む大量の土砂が堆積していることから、土石流が度々発生しています。

平成23年6月23日の豪雨時に、産屋沢において土石流が発生し、上高地への唯一のアクセス路である県道上高地公園線が寸断されました。この災害により、上高地内に観光客ら約1,200名が孤立しました。

今後このような災害が発生しないよう平成23年9月より溪流保全工に着手し、平成29年5月に竣工しました。

平成23年6月23日に発生した土石流災害の状況



被災前(平成23年6月15日撮影)



被災後(平成23年6月26日撮影)



路面に溢れかえる土石流の様子



土石流の堆積状況



土石流発生直後の釜トンネル(上高地側)

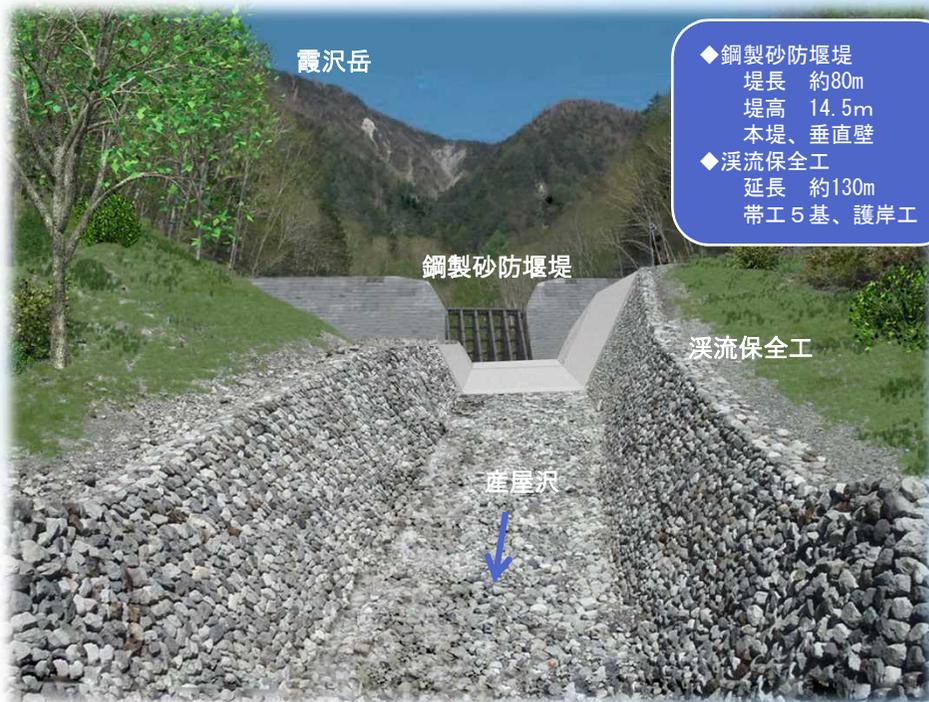
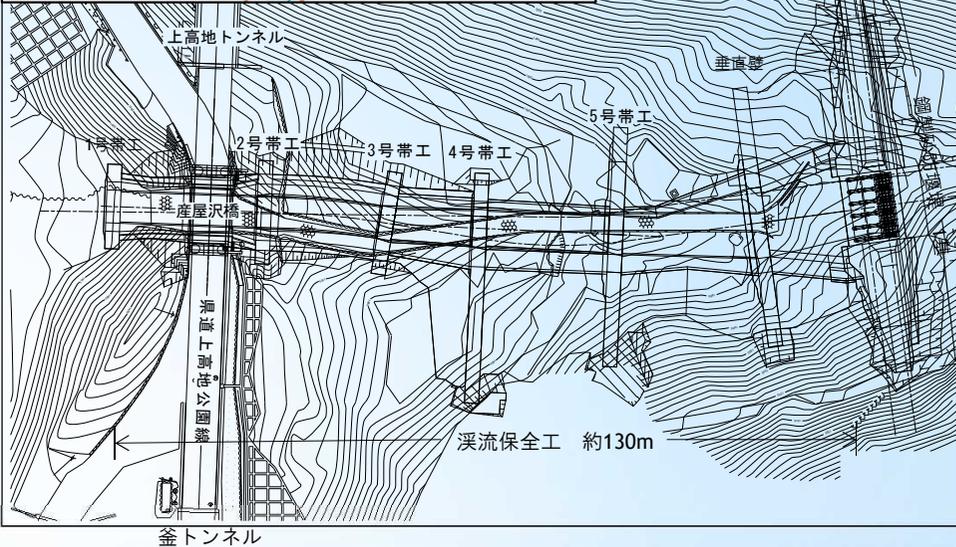


釜トンネル内を流れ下り国道158号まで堆積

位置図



平面図



- ◆鋼製砂防堰堤
堤長 約80m
堤高 14.5m
本堤、垂直壁
- ◆溪流保全工
延長 約130m
帯工5基、護岸工

霞沢岳

鋼製砂防堰堤

溪流保全工

産屋沢